



アカウントティング ID リスト

- [アカウントティング ID リストの設定 \(GUI\) \(1 ページ\)](#)
- [アカウントティング ID リストの設定 \(CLI\) \(1 ページ\)](#)
- [クライアント アカウントティングの設定 \(GUI\) \(2 ページ\)](#)
- [クライアント アカウントティングの設定 \(CLI\) \(3 ページ\)](#)

アカウントティング ID リストの設定 (GUI)

手順

- ステップ 1 **[Configuration] > [Security] > [AAA]** の順に選択します。
 - ステップ 2 **[Accounting]** セクションで、**[Add]** をクリックします。
 - ステップ 3 表示される **[Quick Setup: AAA Accounting]** ウィンドウに、メソッドリストの名前を入力します。
 - ステップ 4 **[Type]** ドロップダウン リストで、認証タイプとして ID を選択します。
 - ステップ 5 **[Available Server Groups]** リストで、ネットワークへのアクセスの認証に使用するサーバグループを選択し、**[>]** アイコンをクリックして **[Assigned Server Groups]** リストに移動します。
 - ステップ 6 **[Save & Apply to Device]** をクリックします。
-

アカウントティング ID リストの設定 (CLI)

アカウントティングは、ユーザの操作をロギングしてユーザのネットワーク使用状況を追跡するプロセスです。ユーザによる操作が正常に実行されるとそのたびに、RADIUS アカウントティングサーバでは、変更された属性、変更を行ったユーザのユーザ ID、ユーザがログインしたリモートホスト、コマンドが実行された日付と時刻、ユーザの認可レベル、および実行された処理と入力された値の説明が、ログに記録されます。

アカウントティング ID リストを設定するには、次の手順に従います。

始める前に

RADIUS サーバと AAA サーバ グループを設定します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	aaa accounting identity named-list start-stop group server-group-name 例 : Device(config)# aaa accounting identity user1 start-stop group aaa-test	アカウンティングを有効にして、クライアントが承認されたときに start-record アカウンティング通知を送信し、最後に stop-record を送信できるようにします。 (注) 名前付きリストの代わりにデフォルトのリストを使用することもできます。

クライアント属性が変更された場合（たとえば、IP アドレスの変更、クライアントのローミングなど）はそのたびに、アカウンティングの中間アップデートが RADIUS サーバに送信されます。

クライアント アカウンティングの設定 (GUI)

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	[Configuration] > [Security] > [AAA] の順にクリックします。	
ステップ 2	[AAA Method List] > [Accounting] をクリックし、[Add] をクリックします。	
ステップ 3	表示される [Quick Setup: AAA Accounting] ウィンドウに、メソッドリストの名前を入力します。	
ステップ 4	ネットワークへのアクセスを許可する前に実行するアカウンティングのタイプを [Type] ドロップダウン リストから選択します。	
ステップ 5	[Type] ドロップダウンリストから、サーバのグループをアクセス サーバとして割り当てるか、またはローカル サーバを使用してアクセスを許可するかを選択します。	

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	[Available Server Groups] リストで、ネットワークへのアクセスの追跡に使用するサーバグループを選択し、クリックして [Assigned Server Groups] リストに移動します。	
ステップ 7	[Save & Apply to Device] をクリックします。	

クライアントアカウントティングの設定 (CLI)

クライアントアカウントティングを設定するには、次の手順に従います。

始める前に

RADIUS アカウントティングが設定されていることを確認します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	wlan profile-name wlan-identifier ssid 例 : Device(config)# wlan user1_dot1x 2 user1_network	WLAN を作成します。 (注) ここでは dot1x WLAN を例として使用します。RADIUS サーバが設定されていれば、他のセキュリティ方式に対してもアカウントティングを有効にすることができます。
ステップ 2	security dot1x authentication-list auth-list-name 例 : Device(config)# security dot1x authentication-list user1-ext	dot1x セキュリティ用のセキュリティ認証リストを有効にします。
ステップ 3	no shutdown 例 : Device(config)# no shutdown	WLAN をイネーブルにします。

